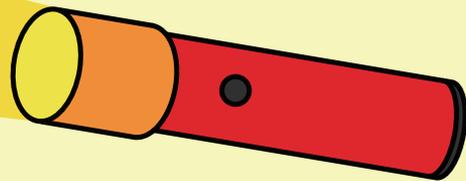


近日申込開始予定
続報をお待ちください！



災害福祉教育 ベーシック研修 2025

— 災害福祉の理解を深めるために —

近年、地震・豪雨・台風・土砂災害・竜巻などの自然災害は頻発し、被害の拡大が続いています。こうした状況のなか、生活支援・心理的支援・制度活用など、福祉の視点から「救える命」を支える専門職である社会福祉士・精神保健福祉士への期待は一層高まっています。新カリキュラムにおいて災害福祉が必修項目とされたことも、その重要性の高まりを示すものです。

本連盟では、これまでも被災地で活動する会員校の学生ボランティアや教職員のサポートを実施しています。令和6年能登半島地震では、全国の会員校の学生や教職員が被災地へボランティアに足を運ぶ仕組みとして「DWAS-JAPAN※」を立ち上げ、北陸学院大学（石川県金沢市、本連盟会員校）と連携し、全国の学生ボランティア・教職員による支援活動を後方より支援してきました。
※DWAS-JAPAN は“Disaster Welfare Assistance Student”の略称で、災害時の福祉支援に取り組む学生を意味します。

こうした現場の経験を教育へつなげていくことがより求められ、災害現場で求められる福祉専門職の役割とその育成に向けた災害福祉教育の重要性が高まる中、このたび、養成校教員の皆様を対象に、災害福祉の現場理解を深め教育に生かすための基礎研修を企画しました。

被災地での支援経験が豊富な講師をお招きし、現場のリアリティに根ざした講義と演習を展開します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【講義】 オンデマンド配信
2026年1月より順次公開予定
1科目30分

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1. 概論：災害福祉のリアルを知る | 講師：山本克彦先生（日本福祉大学） |
| 2. 展開：時系列で捉える災害福祉 | 講師：後藤至功先生（佛教大学） |
| 3. 対象：分野別で捉える災害福祉 | 講師：新井利民先生（立正大学） |
| 4. 連携：ニーズで捉える災害福祉 | 講師：篠原辰二先生（Wellbe Design） |

【演習】 参集

災害に関する授業実践（カードワーク、フォトランゲージ、ディスカッション）を演習形式で学びます。

日時：2026年 2月9日（月） 時間調整中（午前開始・夕刻終了の予定です）

場所：東京海洋大学 白鷹館 2階多目的スペース

講師：篠原辰二先生（Wellbe Design）、山本克彦先生（日本福祉大学）



ソ教連コーポレートサイトは
こちらから

【対象】 社会福祉士・精神保健福祉士の
養成課程の教員

【参加費】 20,000円
（税込み・演習参加費込み・教材費別途）

【主催】



日本ソーシャルワーク教育学校連盟
JAPANESE ASSOCIATION FOR SOCIAL WORK EDUCATION

